

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2006.10.7 呉市中央7-7-13 Tel21-2798 E-mail:nikko@saikyoji.net

第49回全国児童作品展募集
(詳しくは別紙参照・締め切りは10月22日(日))

今日したこと

- 模糊ダヌキ (仏教子ども新聞)
- 乳粥供養と降魔
- アトポーシス (仏教子ども新聞)

◎楽しかったねー夏の集いー

先生「秋といえば？」
生徒「くり！」
先生「それでは“くり”をさがしましょう。
よーいドン！」
新聞文字さがしゲームをしました。
先生「次、秋といえば？」
生徒「スイカ！」
みんな「えー!？」
生徒「松茸(まつたけ)！」



先生「おーっ、食べたい！それでは松茸を探しましょう。よーいドン！」

優勝したのは慧(さとる)くん学(まなぶ)くんチームでした。前は、秋が旬のものを学びました。旬のものが一番美味しい。冬のスイカは美味しくない。旬のものを食べる、またその地域で収穫される食べ物が一番環境にもいいんですって。そうでないものはエネルギーがかかります。地産地消って大事ですよ。

◎アトポーシス

仏教子ども新聞で「アトポーシス」について書いてありました。細胞が計画的に死ぬことをいうということです。赤ちゃんが生まれるときには、指の間の細胞が死ぬから指ができるそうです。「細胞が死ぬ」ことは新しい生命が「生まれる」ことなんですよ。ということは、死ぬことは生まれることの種ということでしょうか。春は秋の種となり、冬は春の種となる、つらく悲しいことは、私たちの心が深くやさしく、強く成長する種ということなんです。うーん、深いなあ。でも種に花を咲かせるのは大変…。



http://aream.cocolog-nifty.com/area_m/2005/09/index.html

次回は10月15日(日)9時~10時です。

その次は11月4日(土)9時からです。